

第2章 本市の概況

1. 地域の概況

朝来市は、兵庫県のほぼ中央部に位置し、京阪神からは鉄道、高速道路等を利用しておよそ1時間半から2時間で、また、姫路からはJR播但線や播但連絡道路等を利用しておよそ1時間で直結する距離にあり、但馬・山陰地方と京阪神大都市圏を結ぶ交通の要衝の地にあります。また、平成18年7月22日に北近畿豊岡自動車道が和田山まで開通し、阪神間がさらに近くなりました。

朝来市は、豊かな自然と数多くの遺産があります。「茶すり山古墳」を初めとする多くの古代遺産、国史跡の「竹田城跡」や史跡の「生野銀山」などの中世から近世にかけての遺産、また、由緒ある神社・仏閣・各地に伝わる伝統芸能などの歴史文化遺産、それから四季折々の自然に包まれた「キャンプ場、公園、温泉」などが市内には数多くあり、これらの多くの遺産を有効に利用しつつ、広域交流拠点のまちとして「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」を目指しています。

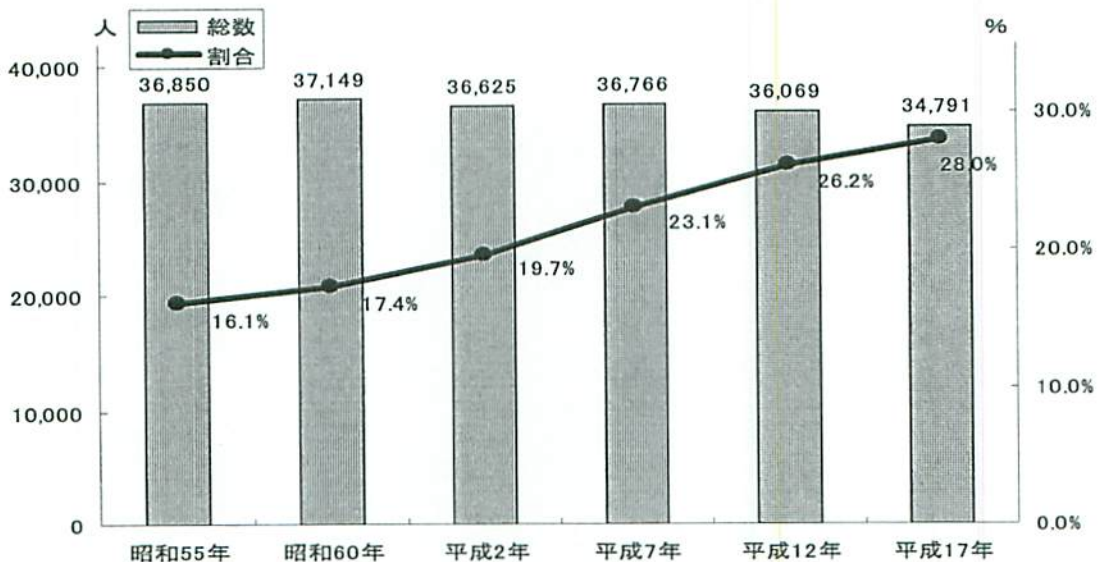
2. 人口

(1) 人口の推移

朝来市の総人口は、昭和60年の37,149人をピークに減少し、平成17年10月末現在、34,791人となっています。

一方、高齢化率は年々増加し、平成17年10月末現在で28.0%、高齢化が急速に進行しています。

図表5 総人口と高齢化率の推移



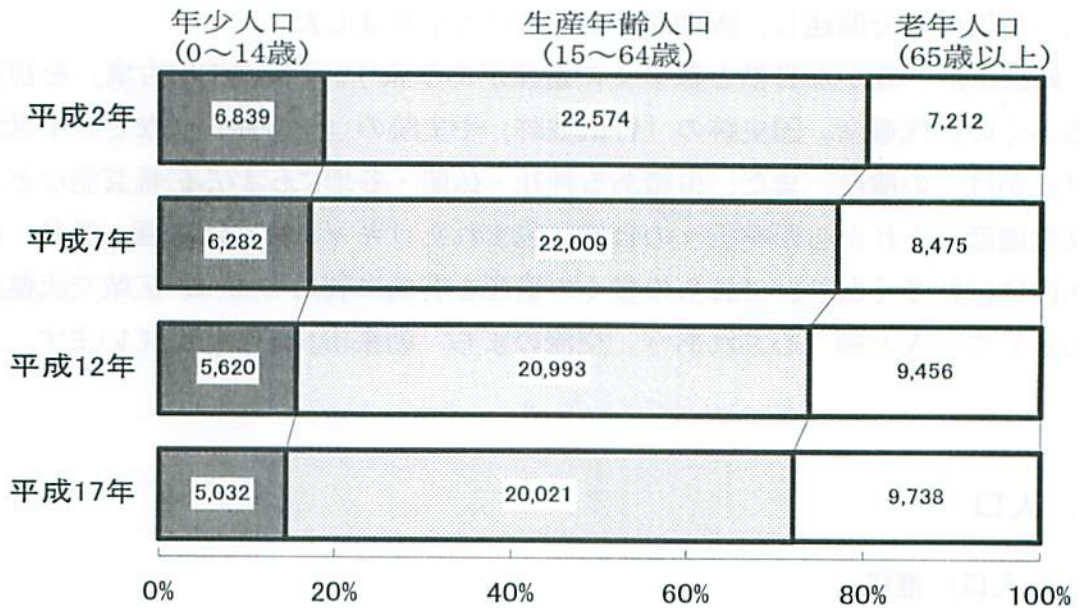
資料：国勢調査

注) 朝来市は、平成17年4月1日に和田山町、山東町、朝来町、生野町の4町が合併して朝来市が誕生しました。総人口、高齢化率は合併前の4町を合わせた数字になっています。

(2) 人口構成

人口構成をみると、平成2年から平成17年にかけて、年少人口（0～14歳）は、1,807人減少しています。老年人口（65歳以上）は、2,526人増加しており、少子高齢化が進んでいます。

図表6 年齢区分別人口の推移



資料：国勢調査

※人口構成は総人口から年齢不詳の方を除いています。したがって、7P(1)人口の推移 図表5の総数と人口構成の人数に相違があります。

注) 朝来市は、平成17年4月1日に和田山町、山東町、朝来町、生野町の4町が合併して朝来市が誕生しました。年齢区分別人口は合併前の4町を合わせた数字になっています。